



あなたはどこへ避難する？

～群馬県避難ビジョン～

近年、地球温暖化の影響で、豪雨災害は激甚化・頻発化しており、その被害は深刻さを増しています。令和元年10月に発生した台風第19号では、群馬県で初めて大雨特別警報が発令される記録的な豪雨となり、尊い県民の命や財産が失われました。

加えて、昨年度から続く新型コロナウイルス感染症流行への対策も、災害時の避難において新たな課題となっています。このため、県は3月に災害時における避難のあるべき姿を示し、対策の方向性を定めた「群馬県避難ビジョン」を策定しました。

災害はいつどこで起こるか分かりません。ビジョンで示すポイントとともに、いざというときの行動を確認してみましょう。

「避難」の3つの段階に応じた対策

避難ビジョンでは、災害時における避難を3つの段階に分類し、各段階に応じた取り組みを進めていきます。



ポイント



1 避難の選択肢を多様に

① 命を守る避難 ② 避難生活(短期) ③ 避難生活(長期)

「避難」とは「難」を「避」けること。小・中学校や公民館などの行政が指定した避難所に行くことだけが避難ではありません。各自がさまざまな避難の選択肢の中から最適な方法を選び、一人一人が「自らの命は自らが守る」という意識で行動することが大切です。

◎ ハザードマップを確認し、災害に備える

災害に備え、被害が想定されるエリアや避難場所などを示した地図「ハザードマップ(防災マップ)」を確認しておきましょう。

マップは自治体ごとに作成しています。詳しくは市役所・町村役場までお問い合わせください。

また日頃から、3日～1週間分の水や食料品などを備蓄しておきましょう。



◎ 避難は警戒レベルで判断

災害発生の恐れがある場合に住民が迅速に避難できるよう、防災情報をレベル分けしてお伝えしています。

「警戒レベル4」までには必ず避難しましょう。

警戒レベル	避難情報など	取るべき行動
5	緊急安全確保	命の危険 直ちに安全確保!
~~~~~<警戒レベル4までに必ず避難!>~~~~~		
<b>4</b>	<b>避難指示</b>	<b>危険な場所から 全員避難</b>
<b>3</b>	<b>高齢者等避難</b>	<b>危険な場所から 高齢者などは避難</b>
<b>2</b>	<b>大雨・洪水注意報</b>	<b>自らの避難行動を確認</b>
<b>1</b>	<b>早期注意情報</b>	<b>災害への心構えを高める</b>

### 防災・災害情報はこちらから

#### 県防災ポータルサイト

- ・気象情報
- ・警戒情報
- ・避難所開設情報 など



#### 県土整備部防災情報

- ・災害情報
- ・河川水位情報
- ・道路通行止め情報(規制) など



### ◎ 状況に応じて避難場所を選択

普段から、さまざまな選択肢を検討し、最も安全と思われる場所に避難しましょう。また避難先が分散することは、新型コロナウイルス感染症の感染リスクがある状況において、避難所での3密(密閉、密集、密接)を避けるためにも効果的です。

#### ホテル・旅館

プライバシーを確保し、自分のペースで避難生活を送れます。事前に予約・確認を行いましょう。なお宿泊費などは自己負担となります。

ホテル

旅館



#### 親戚・知人宅

事前にハザードマップなどで親戚・知人宅の所在地の安全性を確認することも含め、避難先とよく相談しておくことが重要です。災害が発生する前に速やかに避難できるよう、準備をしておきましょう。



#### 自宅

マンションの上層階や、浸水や土砂災害の危険がない場所であれば自宅にとどまり、安全を確保することも可能です。

日頃からハザードマップなどで自宅の安全性を確認しておき、断水や停電に備えて水や食料品などを備蓄しておきましょう。

#### 車中

事前に安全な避難経路や駐車場所をハザードマップなどで確認した上で、車中避難することも選択肢の一つです。交通渋滞や移動中の被災を防ぐために、早めの避難(警戒レベル4・避難指示発令前)を心掛けてください。

また健康への影響に配慮し、小まめに水分補給や軽い運動を行いましょう。

※妊産婦などは健康への影響から、他の避難方法を選択してください



#### 避難所

災害の危険性がある場合には市町村が避難所を開設します。

避難所での感染症対策は、避難者自身の取り組みも必要です。

#### 【感染症対策】

- ・非常食に加えて、マスク、消毒用アルコール、体温計を持参する
- ・マスク、せきエチケット、手洗い・手指消毒、検温など感染症対策を徹底する
- ・可能であれば、避難所の混雑状況を事前に確認する

公民館

小・中学校

